

学習院大学

法科大学院 2021

GAKUSHUIN
UNIVERSITY
LAW SCHOOL
2021



令和2年 司法試験結果について

令和2年司法試験においては、本法科大学院から37名が受験し、短答式試験合格者は22名、最終合格者は5名（既修者4名、未修者1名）でした。本法科大学院では、少人数教育と手厚い支援体制によって、令和2年までに212名の司法試験合格者を輩出しております。今後も、本学の教育理念に基づき、より一層基礎力の定着に力を入れ、きめ細やかに指導を行い、さらに多くの優秀な法曹を送り出せるよう教員スタッフ一同尽力してまいります。

	本学合格者数			(参考) 全合格者数
	既修	未修	合計	
令和2年	4	1	5	1,450
令和元年	5	1	6	1,502
平成30年	11	5	16	1,525
平成29年	8	3	11	1,543
平成28年	11	3	14	1,583
平成27年	8	5	13	1,850
平成26年	8	4	12	1,810

少人数制の授業

教員との距離が近く、経験豊富な教員からきめ細やかな指導を受けることができます。夏季及び春季休業中には、学力増進プログラムを開催し、学力支援を行っています。

修了後の支援

法務研修生、法務研究生として、授業聴講ができるほか、自習室等を利用することができ、在学中と同じような環境で司法試験に臨むことができます。

「法学入門演習1」

法律専門科目の学習にスムーズに入っていけるよう、4月から専任の研究者教員1名と修了生である非常勤講師3名が担当する授業がスタートします。

法務研究科長 | メッセージ

学習院大学法科大学院は、基礎からしっかりと法律基本科目を勉強したいと希望する学生に最適な少人数教育を展開しています。

本法科大学院は、定員30名の小規模でありながら、開設以来200名を超える法曹を輩出してきました。ここでは、本法科大学院の特徴を3点挙げることにします。

第1に、充実した教員の存在です。経験豊かな実務家教員と優れた研究実績をあげている研究者教員が、行き届いたカリキュラムの下で教育を行っているほか、弁護士として活躍する修了生から親身な指導を受けることもできます。

第2に、徹底した少人数教育を行っています。教員と学生との対話型授業を通じて、非常に密度の濃い指導が展開されています。

第3に、勉学にふさわしい環境を整備しています。最新の教育設備などは、在学中はもちろん、修了後も利用可能です。

学習院大学の豊かな伝統の下、真のプロフェッショナルと呼べる法曹を養成します。



法務研究科長
神前 禎

教員紹介

PROFESSOR INTRODUCTION

専任教員



専門分野 憲法 青井 未帆(あおい みほ)教授

信州大学経済学部准教授、成城大学法学部准教授を経て、2011年より学習院大学法科大学院教授。日本公法学会、全国憲法研究会、憲法理論研究会に所属。元司法試験審査委員。



専門分野 憲法 尾形 健(おがた たけし)教授

京都大学大学院法学研究科研究指導認定退学博士(法学)。甲南大学法学部助教授、同志社大学法学部・同大学院法学研究科教授等を経て、2021年4月より学習院大学法科大学院教授。日本公法学会、日米法学会、日本社会保障法学会等に所属。元司法試験・司法試験予備試験審査委員。



専門分野 行政法 大橋 洋一(おおはし よういち)教授

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了(法学博士)。九州大学大学院法学研究院准教授を経て、2007年より学習院大学法科大学院教授。日本公法学会、日独法学会所属。元司法試験・予備試験審査委員。



専門分野 民法 大村 敦志(おおむら あつし)教授

東京大学法学部卒業。東京大学法学部教授を経て、2004年より東京大学大学院法学政治学研究科教授。2019年4月より学習院大学法科大学院教授。日本私法学会、日仏法学会、「法と教育」学会に所属。



専門分野 民法 原 恵美(はら めぐみ)教授

慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。九州大学大学院法学研究院准教授を経て、2012年に学習院大学法科大学院准教授。2015年より学習院大学法科大学院教授。日本私法学会、日仏法学会、信託法学会に所属。



専門分野 商法 神田 秀樹(かんだ ひでき)教授

東京大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究科教授を経て、2016年より学習院大学法科大学院教授。



専門分野 民事訴訟法 長谷部 由起子(はせべ ゆきこ)教授

東京大学法学部卒業。成蹊大学法学部教授を経て、1998年より学習院大学法学部教授。2004年より学習院大学法科大学院教授に就任。日本民事訴訟法学会、日本私法学会、金融法学会に所属。2012年より司法試験委員会委員。



専門分野 刑法 林 幹人(はやし みきと)教授

東京大学法学部卒業後、助手を経て、上智大学に赴任、2015年3月まで同大学法科大学院で教鞭をとる。2015年4月より学習院大学法科大学院教授。刑法学会会員、元司法試験審査委員。



専門分野 刑事訴訟法 安村 勉(やすむら つとむ)教授

上智大学大学院博士後期課程を単位取得満期退学後、沖縄大学助教授、富山大学教授、金沢大学教授、立教大学教授、さらには千葉大学教授を経て、2017年4月より学習院大学法科大学院教授。日本刑法学会会員。2000年より2017年まで司法試験審査委員・司法試験予備試験審査委員。



専門分野 法哲学 若松 良樹(わかまつ よしき)教授

京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。京都大学博士(法学)。成城大学法学部教授を経て、2013年4月より学習院大学法科大学院教授。日本法哲学会、日本倫理学会、日米法学会に所属。



専門分野 国際私法 神前 禎(かんざき ただし)教授

金沢大学法学部助教授、学習院大学法学部助教授、同教授を経て、2004年より学習院大学法科大学院教授。日本私法学会、日本国際法学会、日本国際私法学会に所属。

専任実務家教員



専門分野 民法 小松 達成(こまつ たつなり)教授

慶應義塾大学法学部卒業。1996年弁護士登録。2020年4月より学習院大学法科大学院教授(実務家教員)。



専門分野 民事訴訟法 川神 裕(かわかみ ゆたか)教授

東京大学法学部卒業。1982年裁判官任官。東京地裁判事、最高裁判事(行政)、大阪地裁部総括判事、最高裁上席調査官(行政)、東京地裁部総括判事、大津地裁部所長等を経て、2020年東京高裁部総括判事を最後に定年退官。2021年4月より学習院大学法科大学院教授(実務家教員)。



専門分野 倒産法 松村 昌人(まつむら まさと)教授

東京大学法学部卒業。1996年弁護士登録。2006年から2007年中国・米国留学。2013年4月より学習院大学法科大学院教授(実務家教員、民事保全法、民事執行法、破産法、民事再生法、要件事実、模擬裁判)。



専門分野 刑事法 高橋 健(たかはし けん)教授

東京大学法学部卒業。2005年検事任官。各地の地検検事として勤務し、捜査・公判を担当。2019年4月から法務省より学習院大学法科大学院に派遣(実務家教員)。

特別招聘教授

木口 信之(きぐち のぶゆき)元判事

今井 博紀(いまい ひろき)弁護士

高木 弘明(たかぎ ひろあき)弁護士

山田 和彦(やまだ かずひこ)弁護士

非常勤講師

奥田 誠(おくだ まこと)弁護士

五條堀 岳士(ごじょうぼり たけし)弁護士

今井 悠(いまい ゆう)

兼任教員



専門分野 行政法 櫻井 敬子(さくらい けいこ)教授

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了(博士(法学))。2003年より学習院大学教授。日本公法学会、日本財政法学会、警察政策学会に所属。



専門分野 行政法 常岡 孝好(つねおか たかよし)教授

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得満期退学。1998年より学習院大学教授。日本公法学会、日米法学会に所属。情報公開・個人情報保護審査会委員、神奈川県行政不服審査会委員なども務める。



専門分野 民法 水野 謙(みずの けん)教授

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学(博士(法学))。青山学院大学法学部助教授を経て、2002年より学習院大学法学部教授。日本私法学会に所属。元司法試験考査委員。



専門分野 民法 山下 純司(やました よしかず)教授

東京大学法学部卒業。1996年より、東京大学大学院法学政治学研究科助手。1999年より、学習院大学法学部専任講師。2001年より、学習院大学法学部助教授。2008年より、学習院大学法学部教授。日本私法学会、信託法学会、法と教育学会に所属。国家公務員総合職試験委員。司法試験予備試験考査委員。



専門分野 民法 竹中 悟人(たけなか さとる)教授

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了(博士(法学))。2008年より学習院大学法学部准教授。日本私法学会、日仏法学会に所属。主な論文:「La theorie de la cause vue du Japon」(Droit japonais, droit francais, Quel dialogue, Schulthess, 2014)、『動機の表示』(法学教室454号、有斐閣、2018)。



専門分野 商法 小塚 莊一郎(こづか そういちろう)教授

東京大学法学部卒業。東京大学より博士(法学)の学位取得。千葉大学法経学部助教授、上智大学法学部助教授、同法科大学院教授を経て、2010年より学習院大学法学部教授。国内では、日本私法学会、日本海法学会等に所属。国際的には、私法統一国際協会コレスポンデント、比較法国際アカデミー準会員。



専門分野 商法 小出 篤(こいで あつし)教授

東京大学法学部卒業。東京三菱銀行(現・三菱UFJ銀行)勤務、東京大学大学院法学政治学研究科助手、学習院大学法学部助教授・准教授を経て2010年より同教授。日本私法学会、金融法学会、信託法学会、日本登記法学会に所属。企業会計基準委員会委員、国連国際商取引法委員会第四部会日本国代表、元司法試験考査委員。



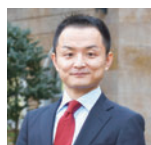
専門分野 商法 松元 暢子(まつもと のぶこ)教授

東京大学法学部卒業。ハーバード・ロースクール(LL.M.)卒業。司法修習生(第58期)、弁護士事務所勤務、東京大学大学院法学政治学研究科助教授、学習院大学法学部准教授を経て、2016年より同教授。日本私法学会、信託法学会、金融法学会に所属。



専門分野 民事訴訟法 林 圭介(はやし けいすけ)教授

東京大学法学部卒業。裁判官任官、東京地裁判事、東京法務局訟務部副部長、大阪地裁総括判事、釧路地裁所長、大阪高裁総括判事等を経て2016年より学習院大学法学部教授。同年弁護士登録(弁護士法人大江橋法律事務所)、日本民事訴訟法学会、仲裁ADR法学会に所属。



専門分野 民事訴訟法 佐瀬 裕史(させ ひろし)教授

東京大学法学部卒業。学習院大学法学部専任講師、准教授を経て、2016年より教授。



専門分野 刑法 鎮目 征樹(しずめ もとき)教授

東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了(修士(法学))、同博士課程単位取得満期退学。筑波大学社会科学系専任講師を経て、2004年より学習院大学法学部助教授、2009年より同教授。日本刑法学会に所属。



専門分野 英米法 紙谷 雅子(かみや まさこ)教授

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了(法学博士)。北海道大学法学部教授を経て、1992年より、学習院大学法学部教授。2004年より法科大学院教授、2009年より法学部教授。日米法学会、比較法学会、日本公法学会、法とコンピュータ学会、法情報ネットワーク学会、アメリカ学会、国際人権法学会に所属。



専門分野 労働法 橋本 陽子(はしもと ようこ)教授

東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了、同大学法学部助手を経て、2000年、学習院大学法学部助教授、2006年より同教授。日本労働法学会に所属。



専門分野 租税法 長戸 貴之(ながと たかゆき)准教授

東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻修了(法務博士)。同研究科助教授を経て、2015年4月より学習院大学法学部准教授。租税法学会に所属。



専門分野 経済法 大久保 直樹(おおくぼ なおき)教授

2003年4月から2004年3月まで知的財産研究所特別研究員、2003年12月東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了(博士(法学))、2005年4月より学習院大学法学部に勤務。日本経済法学会所属。



専門分野 知的財産法 横山 久芳(よこやま ひさよし)教授

東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。東京大学法学部助手を経て、2002年、学習院大学法学部助教授、2009年より同教授。工業所有権法学会、著作権法学会に所属。



専門分野 国際法 阿部 克則(あべ よしのり)教授

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻修士課程修了。ケンブリッジ大学法科大学院修士課程(LL.M.)修了。千葉大学法経学部助教授、学習院大学法学部助教授等を経て、2008年より学習院大学法学部教授。国際法学会、世界法学会、日本国際経済法学会に所属。主要研究領域は国際経済法。

日々やるべきことを淡々と行い、広い視野をもって望む

きっかけは司法書士として企業や個人を支援し、感謝されていた父の姿。一方で、資格上の限界も目の当たりにしたため、より広く法的なサービスを提供すべく弁護士を志しました。

学部生時代から慣れ親しんだ学習院大学は緑が多く、落ち着いた雰囲気が魅力です。経済的な支援制度もあるうえ、第一線で活躍されている教授陣からきめ細やかな指導を受けられることを期待して進学しました。実際、植村立郎先生の刑事訴訟法の授業では、法律学の重要な基礎が身についたと感じています。それは、条文にひたすらかじりつき、突き詰めて考え、関連する判例を大切に作る姿勢です。判例の検索システム(TKCローブラリー)もよく利用し、参照していました。

司法試験対策の重点は主に3つ。条文と判例を大切にすること、問題演習を中心に据えて反復して解くこと、問題演習の際は法的な論点を体系的に探索せず、虚心坦懐に臨むことです。木と森の双方をありのままに見ることを意識して、平静を保つようにしました。

今後は弁護士として市井の人々の声をよく聞き、決して驕らず、広い視野をもって、たゆまぬ努力を続けていける弁護士になりたいと考えています。

！ 後輩へのアドバイス

本院法科大学院の先生方は、各法分野の第一線で活躍されている方ばかりで、教育環境としては非常に充実しています。ただ、その環境を十分に活かすためには、多くの受験生が知っている典型的な論点や判例を事前に一通り頭に入れておく必要があります。司法試験合格までの道のりは決して平坦ではありませんが、自信を失わずに地道にがんばって欲しいと思います。

柴田 良

2017年3月修了

(法学既修者コース)

学習院大学経済学部経済学科卒



そのときのめぐり合わせと感性に従って、今がある

将来に悩んでいた時期、関西の金融業を描いた漫画で法律に興味を持ちました。法学部に進学後、実家の都合で宅建の資格を取得。そのとき学んだ知識を、実際に生かした経験が面白く、具体的に弁護士を目指すようになりました。

この法科大学院の魅力は、なんと言ってもそうそうたる教授陣。私は以前の仕事の関係で、有名な先生方の様々な教科書を研究していました。当時「自分とは絶対に縁はないだろうな」と思っていた尊敬すべき先生方が、目の前で授業をしてくださる。この感動は、自分特有なものかもしれません。

机上の学習が苦手な私は、とにかく人を巻き込み、対話を通じて知識を構築していきました。初学者にあらゆる法律を解説したり、人と一緒に判例を読んで説明の筋を通したりと、実践を通じて法律知識の幹の部分育てていった感じです。ただし、『六法全書』と、『判例百選』は穴が開くまで読みましたね。

これからは、一般民事や刑事事件などを幅広く担当できる、なんでも屋のような弁護士になりたいです。

！ 後輩へのアドバイス

「『六法全書』を読みなさい」「判例を読みなさい」。ほとんどの先生が口をすっぱくしておっしゃることですが、意外とこの基本がおろそかになりがちです。反対に、『六法全書』と判例を精読しさえすれば、グッと成績も上がり、合格は近づきます。先生方が尋ねる「この法律は何条ですか?」という質問に即座に答えられるかどうかを、自分の理解度の指標にしてみてください。

渡辺 丘旭

2019年3月修了

(法学既修者コース)

青山学院大学法学部法学科卒



環境を整え、型を守り、客観的に自分を分析

8年前、私は不動産賃貸業を営む会社を設立しました。経営するうち、法律的な知識があったほうが取引で優位に立てると実感したため、今度は弁護士を目標にしてみようと思いました。

「授業に毎日通うこと」を最も大事にしたかった私にとって、学習院大学の交通の便の良さは抜群でした。さらに素晴らしいのは自習環境。近くに図書館があり、自分専用の机もあったため、余計なストレスや時間的なロスはなく、心置きなく学べました。また、入学当初、予習の方法もわからず苦しんでいた未修者の私が法律の勉強法をつかめたのは、教授たちの授業のおかげです。

司法試験に合格するには、授業をしっかり理解したうえで、合格答案をまねることが最も重要です。自分でいいと思う合格答案の言葉の使い方や文章構成をなぞり、同じような答案を書けるようにするんです。法律の理解はあっても、伝わらなければ意味がない。本学在学中、予備試験の論文試験で2度失敗し、痛感したことです。

今後は弁護士として、ご相談者のセカンドキャリア形成や資産形成の法的なアドバイスができればと思っています。

❗ 後輩へのアドバイス

大事なことは3つ。授業をとにかく理解し、いい成績をとること。合格答案をまねること。そして「自分の実力は司法試験短答合格者の平均よりも上だ」と確信することです。学習院大学などの小規模校だとなかなかこの確信はつかみづらいので、予備試験や全国模試、短答の模擬試験を積極的に受けて、都度自分の実力を確かめてみてください。本番に自信を持って臨むことができます。

美田 敦賜

2020年3月修了
(法学未修者コース)
同志社大学経済学部卒



心の持ちようが結果を変える。丁寧に無難に一步一步

はじめはなんとなく選んだ法学部でしたが、弁護士として楽しそうに働く兄の影響で、実際に法曹を志望するようになりました。

学部在籍した頃からの親しみある場所で、面倒見のよい弁護士の先輩たちからゼミ形式でサポートを受けられたことは、非常に勉強しやすかったです。授業では、現役の検察官である高橋先生の刑事訴訟法は印象的です。模擬法廷教室で行った模擬裁判は、テレビで見て想像していた以上に厳しく、難しい現場でした。

私が本試験で重視したことは、無難で丁寧な「守りの答案」の作成です。1回目の司法試験で、自信のあった科目となかった科目の結果が想定と逆転していたことから、自分本位ではなく、相手に読んでもらうための答案作りを心がけるようにしました。ただ、最後の試験までモチベーションを維持することには苦労しました。「この道を選んだ以上、受かるしかない」「援助してくれている親に報いたい」という思いでどうにか乗り切りました。

司法修習を終えたら、兄のように、国選の刑事裁判から家事審判、交通事故までを扱うような、町の弁護士になりたいですね。

❗ 後輩へのアドバイス

この法科大学院の環境は、ものすごく厳しいわけではありません。ですから、司法試験合格を手にするためには自分で覚悟を決め、意識的に勉強していく必要があります。大学院修了から司法試験までの時間は長く、試験に落ちてしまえばまた1年。その間、いかにモチベーションを高め続けていくかが重要なので、地道に努力して一つひとつ成果を積んでいくとよいと思います。

桑原 拓也

2018年3月修了
(法学既修者コース)
学習院大学法学部法学科卒



入試情報

※記載内容は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言、自粛要請、その他社会状況により、変更される可能性があります。
最新情報は、本法科大学院ホームページをご確認ください。

1. 入試概要

募集定員：30名（既修者コース 24名、未修者コース 6名）

令和4（2022）年度入試日程：

日程			A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
入試 区分	法学未修者 コース	一般 成績優秀者は1年間授業料減免	2名	2名	2名	若干名	若干名
	法学既修者 コース	特待 合格者は2年間または1年間授業料免除	－	若干名	2名	3名	若干名
		一般 成績優秀者は1年間授業料減免	6名	6名	6名	若干名	若干名
		ジャンプアップ 飛び入学・早期卒業対象 合格者は2年間または1年間授業料免除	－	－	若干名	若干名	若干名
出願期間（郵送に限定、締切日必着）			7/30～8/5	9/7～9/13	10/12～10/18	11/9～11/15	2/14～2/16
筆記・面接試験			8/27(金)	9/25(土)	10/30(土)	11/27(土)	2/26(土)
合格発表			9/10(金)	10/15(金)	11/12(金)	12/10(金)	3/11(金)
併願			可	可 既修一般・未修一般 または 既修特待・既修一般	可 既修一般・未修一般 または 既修特待・既修一般	可 既修一般・未修一般 または 既修特待・既修一般	可 既修一般・未修一般 または 既修特待・既修一般

*法曹コース（募集人員1名）については、出願期間等協定校へ別途通知

*選考方法 【既修者コース】

特待 書類審査・筆記試験（憲法・民法・刑法・刑事訴訟法・民事訴訟法）・面接

一般 書類審査・筆記試験（憲法・民法・刑法・刑事訴訟法・民事訴訟法）

ジャンプアップ 書類審査・筆記試験（憲法・民法・刑法・刑事訴訟法・民事訴訟法）・面接

【未修者コース】

一般 書類審査・小論文・面接

*同年度内に実施の入試に2回以上出願すると2回目以降が割引となります。初回受験は35,000円、2回目以降は10,000円となります。
同日実施の併願も2回にカウントし、片方の受験料が10,000円となります。

入試要項・願書：本法科大学院ホームページからダウンロードができます。

入試結果・過去問題：本法科大学院ホームページで公開しています。

2. 説明会日程

本法科大学院の特色、入試内容、カリキュラム、教員、奨学金等について説明いたします。是非ご参加ください。

日時	会場	備考
6月15日（火）18:00～	オンラインにて開催	教育内容等説明
7月31日（土）10:00～	オンラインにて開催	入試問題解説有（民法）
9月11日（土）10:00～	学習院大学中央教育研究棟	入試問題解説有（刑法）
10月6日（水）18:00～	学習院大学中央教育研究棟	入試問題解説有（憲法）
11月6日（土）13:00～	学習院大学中央教育研究棟	教育内容等説明

3. 授業見学

本学への受験を考えている方（社会人および大学1年生以上）を対象に、入学後の学習のイメージをつかんでいただく機会として、実際に行われている授業の見学を許可しています。

① 見学できる科目 3科目まで

② 見学期間 第2学期11月8日（月）～11月20日（土）

③ 申込方法等 ホームページに見学実施要項を掲載します。

④ 備考 希望者人数等によりご希望に沿えない場合があります。ご了承ください。

学習院大学 法科大学院ガイド 2021年度

発行日：2021年6月1日

発行所：学習院大学法科大学院

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1



👉 学習院大学法科大学院HP